

京都市立芸術大学音楽学部同窓会



真声会

会報 第66号



2018年6月1日

音楽の心と呼び起こす 演奏会

真声会会長 大村 益雄 (1期・作曲)

「京都子どもの音楽教室」は、京芸音楽学部の音楽教育研究会の研究機関であり、毎週土曜日に、京都堀川音楽高校の校舎をお借りして、ソルフェージュ、リトミック、合唱、合奏、作曲などの基礎音楽教育を行っています。研究指導は京芸出身者が中心で、発表の場として、定期演奏会や、創作オペレッタなどの公演があり、特に「創作オペレッタ」は、基本的に2年に1回、外部の音楽ホールを使ったイベントとなっています。

今年は、第25回公演「森は生きている」(サムイル・マルシャーク原作：岩波少年文庫)が、3月11日(日)に、八幡市文化センター・大ホールで行われました。聴いていて、見ていて、プレーヤー、スタッフ、皆さんの音楽に対する情熱が感じられ、とても感動深い演奏会でした。

第1回公演「あり(蟻)ときりぎりす」が上演されたのは1959年、約60年前で、今回は第25回目です。その間、指導に携わってこられた多くの研究員(京都子どもの音楽教室で教えている先生は特別研究員と呼ばれている)は、子どもたちの音楽表現力や創造力を如何に伸ばしていくかを研究し、改善し、試行錯誤を重ねながら、今日に至っています。私は、長年にわたり、ほぼ毎回、聴きに行っていますから、その変遷と教育成果を実感できます。

創作オペレッタ用に翻案された台本を基に、生徒である子どもたちが作曲し、研究員である先生方が指導。マルチキャストによる出演者の選定。合唱、合奏を含めて、教室で勉強している全生徒が出演することになります。演出、舞台装置、舞台衣装なども、指導者・保護者を含む関係者が協力し、総合舞台として成り立っています。「創作オペレッタ」を作り上げていくこの体験は、生徒にとっても「一生の思い出」になることでしょう。

「森は生きている」のストーリーは、わがままな女王様と可哀想な少女の物語で、社会的な教訓を含んでいます。特に今年の出来栄は、舞台装置が雄大で、キャストの衣装も繊細、全体の演出が良く纏まっていたので、生徒達の表情も豊かで大変優れた教育結果を生み出していたと思います。保護者、親戚、知人など、多くの聴衆に恵まれ、出来ることなら、多くの子どもたちに、この舞台を生で実際に見せてあげたいと思ったことでした。そして今後も、音楽表現の幅が、将来に向かって更に磨かれていくことになると思いました。

心に残る、もう一つの演奏会は『アンサンブル・モーツアルティアーナ 第80回定期演奏会、2月18日(日) いずみホール』です。ほぼ毎年2回、催されており、初回の演奏会は約40年前の1976年、神戸文化ホールで行われたということです。随分、長くて、深い歴史を持ったアンサンブル組織だと納得し、お世話をされている方々

会長巻頭言.....	1	各支部活動報告.....	7
真声会賞報告.....	2	コンクール等受賞者.....	9
真声会賞受賞者レポート.....	3	真声会活動報告.....	10
卒業式・入学式参列報告.....	5	事務局からのお知らせ.....	11
京芸だより.....	6	後援演奏会情報.....	12

のリーダーシップによる、その結束力、持続力を強く感じました。

「アンサンブル・モーツアルティアーナ」は、アマチュア・オーケストラの活動として紹介されていますが、聴いていて、単なるアマチュア集団とは思えないレベルの高さで、とてもユニークな演奏グループです。演奏者の目が輝いています。この演奏会は、私はまだ数回しか聴いていませんが、命が洗われます。演奏者は、初回から参加の人を含めて音楽を愛するメンバーがその都度集まり、また、プロのオケ・メンバーも参加し、演奏のクオリティーはかなり高いと言えます。

一般に、音楽演奏は、演奏技術レベルが高いほど評価されがちですが、決してそうではありません。音楽内容の深さ、訴求内容の方向性、そして、聴衆との結びつき、などによって評価されるべきだと思います。

演奏会を聴くときに、そのアンサンブルの「質の高さ」を聴きに行くこともありますが、実際に演奏が楽しめるのは、どのような「音楽表現」をしているかに興味を向けた時です。その意味で、「アンサンブル・モーツアルティアーナ」の定期演奏会は、独自の価値を持っています。以前の演奏会で、ヴァイオリン協奏曲のソリストに、病院の院長さんが出演されていて、その音楽表現に心を惹きつけられました。このような演奏は、演奏会として、とても楽しめます。

今回の第80回定期演奏会の曲目は、モーツアルトの作品3曲で、交響曲29番 イ長調 K. 201、ヴァイオリン協奏曲 二長調 K. 218、交響曲35番 二長調 K. 385「ハフナー」でした。この演奏会は、通常、指揮者なしが特徴でもあります。今回の協奏曲ソリストは、すでに国内外で実績のある若い女性でしたが、自由で満足感に溢れていて、楽しく聴くことができ、最後の「ハフナー」は、活力のある表現で、演奏会を締めくくりました。帰りに、友人とこの演奏会について、あれこれと話し合いましたが、このアンサンブルの存在意義を含めて、同じ意見でした。

他にも心に残る演奏会は幾つかありました。クラシック音楽の日本における社会的価値が変貌していく中で、心に響く演奏会が、さらに増えていくことを望んでいます。

山原さくらさん(声楽)が第2回 真声会賞を受賞されました

真声会副会長 登 博美(22期・トロンボーン)

本年3月に執り行われた京芸の卒業式において、真声会賞の第2回受賞者となった平成29年度卒業生の山原さくらさんに対して、大村会長から真声会賞と副賞を授与いたしました。

昨年同様、真声会賞受賞者選考のために、卒業生の中から専攻の実技や音楽に関わる成績のみならず、一般教養を含む全ての学科において成績優秀な卒業生を真声会学内委員(真声会会員で京芸の専任教員)に選考していただき、弦楽器専攻、声楽専攻、音楽学専攻各1名の3名が推薦されました。これを受け、それぞれから提出された任意のレポートをもとに、真声会理事会において慎重に選考を行いました。

3名のレポートからはそれぞれ多少文章に未熟さが残るものの、将来の夢を実現するための情熱や音楽を通して社会に貢献したいという熱い思いなどがひしひしと伝わり、甲乙付け難く選出するには困難を極めました。理事会として最終的に山原さんを選出いたしました。山原さんのレポートは、本会報に掲載しておりますので、どうかご一読いただきたいと思います。

今回の真声会賞受賞者選考にあたり、総合成績の資料作成のためご協力いただきました京芸事務局教務課や推薦いただいた学内委員の皆様方に感謝申し上げます。

山原さんを始め卒業生の皆さんには、これから様々な困難や苦勞が待ち受けていると思いますが、京芸で学んだ多くの知識や経験を糧として自らの道を切り拓き、さらに活躍されますことを願っています。

真声会賞受賞者よりメッセージ

この度は、誠に荣誉ある賞を頂いたこと、大変光栄に思います。また、心から感謝申し上げます。京都市立芸術大学で学んだ様々な事柄や、出会えた人々は、一生忘れられない大切な宝物です。これからは新天地での勉強になりますが、今までの経験を基盤にし、より一層お客様の心に残るような演奏ができるよう、精進していきたいです。



真声会賞受賞者レポート

音楽の存在

山原 さくら (63 期・声楽)

音楽は人間が生きていく上で必要不可欠なものではないかもしれない。しかし今、この地球上で音楽が存在しない場所はほとんどなく、どんな国でもどんな場所でも人は音楽と共に生活しているのだ。では人間にとって音楽を必要とする所以は何なのだろうか。

子供たちはテレビで見たはやりの歌を幼稚園で歌い、夜は母親の子守歌を聴きながら眠りにつく。学校に進学すると全校生徒で校歌を歌い、スポーツの応援席では一丸となって応援ソングを演奏する。私たちの日常に音楽があることは当たり前のことだ。また、音楽科指導要領によると、合唱（声を合わせること）や合奏（音を合わせること）は教育に必要な内容として記載されている。音を合わせることによって互いの意識を高め、そこから協調性や仲間意識、集団としての結束力が生まれる。音楽が私たちの成長を手助けしてくれる大切な存在であるということに気づかされた。

しかしながら、人間は明らかに「教育としての音楽」の他にも求めている音楽があると思う。それは、音楽が人間の感情を表現する大きな役割であることに関係する。これは聴き手だけではなく、表現者にとっても重要であるため、ここから先は音楽と感情について、聴き手と表現者の 2 つの視点で考えてみたい。

日本の現代社会は、SNS の普及からくるネットいじめや、社内での時間外労働など様々な問題を抱えている。その影響からか社会の傾向としては“感情をコントロールできる”のが大人だとされている。もちろん自分の感情をコントロールすることは社会人として大切なことだが、それは自分を押し殺すことに繋がってしまいかねない。音楽はそんな心苦しい社会の強い味方だと思う。私たちは何かの感情を感じたい、あるいは、何かの感情を解消したいときに音楽を聴く。例えば大きな目標を目の前にして自分を奮い立たせたいときには炎が燃え盛るような曲を聴き、心が落ち着かないときには「癒し」を求めて、静かで優雅に流れる音楽を聴く。反対に、パーティーなどの場面で心躍るような快活な曲がかかっていると、その雰囲気につられて気持ちが高揚していくこともある。私たちは無意識の中で様々な感情を求め、探しているときがある。だからこそ納得できる音楽に出会ったときにはとても感動が押し寄せてくる。このようなことから、聴き手から見た音楽は人間として欠かせない“感情の表出”を手助けしているものであると言える。

次に表現者としての視点で考えてみたい。芸術という言葉の語源である、“ars(art)” はもともと“人工の技術”という意味であったようだ。確かに美術も音楽も、人の手によって作り出される芸術作品

であるので容易に納得できる。『考える人』などで有名なフランスの彫刻家オーギュスト・ロダンは“芸術とは感情だ”という言葉を残した。芸術とは、人間が自分の感情を表現するために様々な技術を凝らして作られたものであり、それは100年200年経っても変わることのないものであるのだ。またフランスの作曲家ドビュッシーは、“言葉で表現できなくなった時、音楽が始まる”という言葉を残した。人間にとって“言葉”は一番のコミュニケーションツールであるが、言葉では言い表せない細かな表現、微妙に変化していく風景や個人の感情、そして「愛」の表現など、音楽はそんなことまでも表現できてしまう。太古から求愛の際には歌や踊りが用いられていた。私が学んでいる西洋音楽の歴史にも、当時から「愛」を表した曲がたくさん作られていたことがしっかりと刻まれている。音楽を作り出す作曲家も、音を奏でる演奏家も、音楽という方法で自分自身の中にある「愛」を表現していたのである。

「おんがく」 作詞：まど・みちお 作曲：木下 牧子

かみさまだったら

みえるのかしら

みみを ふさいで

おんがくを ながめていたい

目もつぶって 花のかおりえのように

おんがくに かお よせていたい

口に含んで まっていたい

シャーベットのようにながってくるのを

そして ほほずりしていたい

そのむねに だかれて

音楽とは、目には見えず、耳で聴くものである。実際に音は空気の振動によって人間の耳に伝わるので当たり前なことだが、ときには私たち一人ひとりの想像によって映像化され、目に見えることもある。そしてイメージすることによって香りや味まで感じられることもある。このように私たちの五感を活用させることによって、体全体に幸福感や充実感、時には安心感さえも感じさせてくれる。

私は一人の演奏家として、誰かの心の支えになれるような人になりたい。西洋の音楽を表現する者として作曲家の意図をしっかりとくみとって演奏し、その演奏を求めている人に橋渡ししたい。現代には音楽にも沢山のジャンルがあるが、私はこの「クラシック」を学び、「声楽」と出会えたこと、そして今ではそれが自分を表現できる方法の一つであることにこれ以上ない喜びを感じている。たくさんの人に支えられて音楽を学んでいることに感謝しながら、いつかは私の演奏で誰かを支えられるよう、日々努力していきたい。



平成 29 年度 卒業式に参列して

真声会副会長 樋上 由紀（19 期・ピアノ）

平成 29 年度芸術大学の卒業式が去る 3 月 23 日、芸大の講堂で執り行われ、大村会長と共に参列致しました。今年は早くも桜が咲きほころび晴れの日を祝福しているかのようでした。

音楽学部生 60 名、音楽学部大学院修士課程 24 名、博士課程 4 名の卒業生を含む総勢 272 名が卒業されました。美術学部の恒例のインパクトのあるコスチュームに会場からは笑い声が上がり、式典は厳かな中にも終始和やかな雰囲気となりました。又卒業生の中には外国からの留学生も随分増え、様々な民族衣装姿に芸大も国際色豊かになった印象を受けました。

式は卒業証書授与、学位授与、市長賞、同窓会賞受賞があり、今年が第 2 回目となる「真声会賞」受賞者の声楽の山原さくらさんには大村会長から賞状と副賞 10 万円が贈呈されました。

鷲田学長の祝辞では「才能は贈られたものであり、一人のものではない。その原石を磨いてくれる人や環境があって初めて輝きを得るもの。だから感謝の表現として贈り返さなければならない責任がある。」「同じ時代を生きる人びとの喜びや悲しみ、苦しみに深く寄り添い、どんな苦境の中にあっても希望の光を絶やさぬよう、力を尽くして頂きたい。」との力強い祝福の言葉が述べられました。市長の祝辞の後、卒業生代表として、山原さくらさんの挨拶直後、声楽全員による「仰げば尊し」の美しい歌声が会場を満たし、そのサプライズは一瞬時間が止まったような感動的な場面となりました。

未来に羽ばたかれる卒業生の皆さんの今後のご活躍を心よりお祈り致しています。



平成 30 年度 入学式に参列して

真声会副会長 登 博美（20 期・トロンボーン）

今年は随分と桜の開花が早く、大学構内の桜もすでに姿は見られないものの好天に恵まれた 4 月 10 日、平成 30 年度京都市立芸術大学入学式が執り行われ、真声会を代表して大村会長と私が参列いたしました。

今年は、音楽学部 65 名、音楽研究科修士課程 20 名、音楽研究科博士後期課程 1 名が入学されましたが、それぞれ入学した喜びや思いを胸に抱き、期待に満ちた表情が輝く晴々とした顔で参加されていました。

まず、開式にあたり音楽学部管打楽器科在学生 11 名が歓迎ファンファーレ「ポール・デュカ作曲：舞踏詩《ラ・ベリ》より」を披露してくれました。（うーん、今の学生はこんな上手に演奏するのか！）

哲学者でもある鷲田清一学長が読まれる式辞は毎回大変深い内容を含んでいますが、今年の式辞では『芸術の仕事というのは炭鉱に入坑するとき先頭に掲げられる鳥籠に入った「カナリヤ」のように、環境や社会の微かな異変、あるいはその兆候に濃やかに感応するということが期待されている。そして、どんな状況にも手業（てわざ）でそ

れに対応する器用さが不可欠であると思う。また、これからは何度も自分の限界に突き当たって、苦しみ悶々とする時がやってくるだろうが、京芸は「ちょっと助けて」と声を上げれば、誰かがすぐに駆け付けてくれるような温かい気風がある。困ったら教えてもらおう、直してもらおう、手伝ってもらおうということが、何の遠慮もなく当たり前のようにできる空気が、制作や演奏の技術以上に大切なものではないか』と述べられました。

新入生のこれからの大学生活が実りある人生の 1 ページとなりますようお祈りしています。



《京芸だより》

●人事異動のお知らせ

ご退任(2018年3月末)

作曲専攻 前田 守一教授
弦楽専攻(Vc) 上村 昇教授

ご着任(2018年4月1日)

作曲専攻 酒井 健治講師
弦楽専攻(Vc) 向山 佳絵子准教授

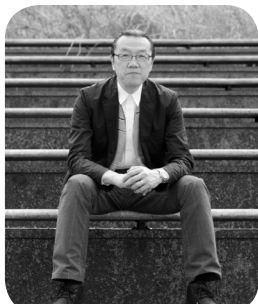
新理事

新音楽学部長
新音楽研究科長

岡田 加津子教授

砂原 悟教授
山田 陽一教授

●砂原新学部長よりメッセージ



どういう手違いか、今年度から音楽学部長を務めることになりました。まったく予期していなかった事態で、まだ現実のこととは思えません。何より、真声会のみなさまが「あんなのが学部長で京芸大丈夫か?」とご心配のこととお察し申し上げます。

これまでの4年間は大嶋義実先生、その前の4年間は山本毅先生がお務めでした。永きにわたって京芸で教鞭を取られ、しかも京芸ご出身でいらっしゃるお二人は、大学のことを熟知され、その信頼感は絶大なものがありました。つねに「音楽家のマインド」を大切にされ、そこにもっとも大きなウェイトを置いた大学運営ができて

るよう強いリーダーシップを発揮されて来られました。お陰で私たちは安心して日々のレッスンを精を出すことができたのです。

私はこちらに赴任し、まだ7年にしかならない極めて経験の浅い者です。とてもこのお二人の代わりが務まる筈はありませんが、いざとなれば周りには強い味方がたくさんおられます。幸いお二人はまだ学部にはいらっしやいますし、他の教員のみなさまからもさまざまな角度から鋭いご意見がいただけます。優秀な事務職員の方々もここ強い存在です。みなさまのご指導を仰ぎながら、2年間精進してまいりたいと思います。真声会のみなさまにおかれましても、どうか温かい目で叱咤激励のほど、よろしくお願いいたします。

「京都に古いも新しいもない」—ある美術の先生が仰ったこの言葉が、深くこころに残っています。京都にとって、現在が歴史の延長線上にあることは自明のことなんですね。わざわざ伝統とかを振りかざす必要がない京都。なんて素敵なんでしょう。

私たちが相手にしている音楽も、たしかにクラシックと呼ばれる数百年の伝統をもっていますが、京都の悠久の歴史に比べれば、つい最近の流行りもののように見えてしまうのです。音楽も京都人の雄大な歴史観のように広い視座からアプローチしていくことが大切のように思います。

真声会のみなさまの存在も、現在の音楽学部を形成している重要な歴史的な核心のひとつです。これからも京都の息吹とともに、ご一緒に歩み続けていければと思います。どうぞよろしくお願いいたします!

●移転整備について (京都市のHPで、プロポーザルの結果や、資料がご覧頂けます。)

京都市立芸術大学では京都駅東部への移転整備に向けて、次のスケジュールのとおり、設計者をプロポーザルにより選定し、設計者からの創造的な提案と対話を重視した設計、更に工事等を進め、平成35年度の新キャンパスのオープンを目指しています。

年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
実施内容	基本計画	プロポーザル	基本設計・実施設計		工事(施工者選定期間含む)			新キャンパス オープン

●演奏会のお知らせ

♪第158回定期演奏会

日程: 7月9日(月) 18:45 開演

会場: 京都コンサートホール 大ホール

指揮: 下野竜也教授

(18時30分から下野教授によるプレトーク)

曲目: ドヴォルザーク/序曲「謝肉祭」

モーツァルト/交響曲第31番「パリ」

矢代秋雄/ピアノ協奏曲 独奏: 古谷華梨

ブラームス/交響曲第2番

真声会会員の皆様は**会員証の提示**により**定期演奏会に無料**でご入場いただけます。



関東支部

真声会会員皆さまにおかれましては、お元気に新年度をお迎えの事とお慶び申し上げます。今年の関東支部は、例年通りの活動を行う予定です。

まずは 5 月 11 日に総会と親睦会。現時点で 19 名の会員皆さまの出席表明を頂いています。年に一度、直接顔を合わせて意見交換の出来る大切な機会ですので、実りある会としたいです。

その後は 6 月頃に関東支部の会報を発行！今回は田中伊知子さんと白水裕憲さんのエッセイ記事他を予定しています。

そして 11 月 24 日にはメインイベントの定期演奏会。今回から演奏時間の基準を一枠 15 分とし、よりアンサンブル的なプログラムを組めるよう考慮しました。普段はソロ活動が多い私たちには管、弦、ピアノ、声楽の隔てなくアンサンブル出来る機会として、また作曲の新作発表の機会としても活用していきたいよう定期演奏会を充実させていきたいと考えています。

毎度のお知らせ & お願いで恐縮ですが、関東以北にお住まいの会員の皆さま、またそんな会員をご存知の方がいらっしゃいましたら、是非、関東支部にご一報くださいませ。今年度も、よろしく願いいたします。

支部長 宇野徹哉 (28 期声楽)

大阪支部

<http://senri-music.com/shinseikai-osaka/>「真声会大阪支部」でアクセス可。

地域に根ざした「プロムナード・コンサート」が再始動しました。第一弾として、昨秋 10 月 15 日(日)、門真市民文化会館ルミエールホール 2 階レセプションホールにて行われました。当日は悪天候にも関わらずお客様に恵まれ、ソロから出演者全員によるアンサンブルまで、盛り沢山のプログラムに惜しみない拍手をいただきました。

第二弾として、5 月 27 日(日)14 時開演、塩屋・旧グッゲンハイム邸で(入場料:1,000 円)、秋には逸翁美術館マグノリアホールで(9 月 8 日(土)14 時開演、入場料:1,500 円)、開催いたします。各々のロケーションも合わせてお楽しみいただけたと思います。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

6 月 17 日(日)午後 1 時半よりフレンチレストラン「フルーヴ」(ホテルグランヴィア大阪)にて支部総会、懇親会を行います。支部世話役・役員の選出、新年度の活動について等、活発なご意見を期待しております。また昼食を共にしながら親睦を深めてまいります。

上記詳細につきましては支部ホームページ、支部報に掲載致しておりますので、ご覧いただけましたら幸いです。

副支部長 大富榮里子 (28 期・ピアノ)

奈良支部

奈良支部では、6 月 3 日(日)支部総会と懇親会を予定いたしております。西大寺のプリズムフードノールにて 11 時開始予定です。関係者はぜひご参加ください。

また、来年 8 月 31 日(金)17 時開演、秋篠音楽堂にて第 18 回定期演奏会を開催いたします。トークコンサート「クラシック好きな男の日記」と銘打ち 38 期の柳楽正人さんをナビゲーターとしてコンサートを進めていきます。皆様、なにとぞご協力よろしくお願いいたします。

何かありましたら、真声会奈良支部事務局 E-mail shinseikai_nara_shibu_info@yahoo.co.jp までお気軽にお問い合わせください。どうぞ宜しくお願いいたします。

支部長 菊田 義典 (42 期・声楽)

京都支部

京都支部が発足して今年は創立 30 周年という記念すべき年になりました。そのうちの 29 年間、私個人的には支部の役員として参加し、皆様に温かく支えて頂きながら、2017 年度を持ちまして遂に役員を卒業をさせて頂きました。お陰様で支部活動を今日まで順調に歩んで来ることが出来たのも、会員の皆様をはじめ、真声会本部と周りの多くの方々のお力添えのお陰と、長い間お世話になりました事に深く感謝とお礼を申し上げます。そして、寒川新支部長をはじめ、新役員の皆さんで、また新たな京都支部活動が活発に発展していくことを願っています。

去る 2 月 22 日には、キャンパスプラザ京都におきまして、28 期卒で今春から大阪音楽大学学長に就任されました本山秀毅氏に「バッハの魅力」と題しての講演を頂き、大変実り多い勉強をさせて頂きました。また 5 月 20 日(日)には京都四条の WITHYOU に於きまして第 29 回総会&懇親会を開催し、今年度は 12 期卒の朴 実氏に「子どもたちに育てられた 43 年間」～京都子どもの音楽教室と共に～のゲスト講演をお願いしました。

7 月中旬には支部報第 34 号を発行し、9 月 16 日(日)には、今年も府民ホール・アルティに於きまして、午後 2 時から第 35 回プロムナードコンサートを開催します。是非皆様のご来場をお待ち致しております。

連絡先／宮崎友香子(38 期 P) TEL & FAX 0774-93-3957 PC y.miyazaki.ykk@gmail.com

前支部長 山田 晏子(10 期・声楽)

滋賀支部

今年は堀音や石音も周年行事があるようですが、滋賀支部も設立 30 年。細々ではありますが、何とか継続してきました。今年度、新会員も 9 名と、20 年前の 11 名に次ぐ入会を得て大変喜んでます。

さて新年度の総会は 6 月 10 日 18:00 より石山の「イージーオール」で開催です。

秋の第 30 回記念演奏会の日取りは 11 月 11 日(日) 15:00 開演で、浜大津の滋賀銀行本店内「しがぎんホール」です。演奏会の企画としては、30 周年に引っかけ、「出演者 30 人を目指そう」をコンセプトに、多彩なソロ・アンサンブル及び、レナード・バーンスタイン誕生 100 年にあやかって「ウエストサイドストーリー」名曲集の部を設定して参加者大募集中です。また、エンディングには恒例の出演者全員による合唱奏を用意しています。出演者・聴衆共に盛り上げられる記念の演奏会になるよう、取り組みます。

事務局 井出 悟(20 期 P) 大津市日吉台 3-32-1 Tel,Fax 077-579-2171

支部長 杉中 博(19 期・トランペット)

中部支部

平成 29 年度末の 3 月 22 日(木) 18 時よりカワイ名古屋コンサートサロン「ブルー」にて支部主催第 4 回演奏会「音に集う会 Vol. 4」を開催致しました。野中亜紀さん(院 26 期 / 音楽学)解説による「エジプト」をテーマとしたレクチャー形式で行われました。映像に映し出される遺跡、遺産を背景に数々のエジプトに纏わる作品が演奏されました。演奏者の豊永歩さん(59 期 / Vn) 青木美沙季さん(60 期 / 声)、林美咲さん(61 期 / P) 各々も演奏を通して作品の印象を語っていただきましたので聴衆との一体感が伝わる内容となりました。チラシ、チケット、プログラムは川村ハルキさん(19 期 Vn)のご子息(美術学部ご卒業、象の会会員)がテーマに沿ったデザインをして下さいましたので前評判も上々、遠方からの問い合わせも多数頂き、平日、夜公演の当初の不安もすっかり払拭されました。この盛り上がりを次回の演奏会にもつなげたく、早速第 5 回の企画、出演者募集に取りかかっています。支部の HP もリニューアルし、情報を発信しながら活気ある更新に努めます。来る 5/20(日)14 時半より、名古屋市都市センター 13F 第 2 会議室にて 2018 年度第 9 回支部総会懇親会を開催致します。昨年度より策定しました、新卒生や新転入会員の方々は懇親会にご招待(参加費無料)致します。この機会に先輩後輩の交流を深め、演奏活動の幅が広がるきっかけにつながればと願っています。支部活動へのご参加を心よりお待ちしております。連絡先 e-mail: ototsudo.con@gmail.com (中島)

支部長 中島百合子(19 期・作曲)

真声会会員のコンクール等受賞者



コンクール等受賞者の掲載に関しては、正確を期するため、大学の教授会で報告されたものを転載しております。真声会事務局への直接の受賞のご連絡は受け付けておりませんので、必ず、音楽学部教務課にご報告くださいますよう、ご理解、ご協力をお願いいたします。

< 29 年度後期（29 年 10 月～ 30 年 3 月教授会報告分） >

◆第 2 回ダヌビア・タレンツ国際音楽コンクール

弦楽 D カテゴリー 第 2 位

中川 雲母（弦楽専攻 ヴァイオリン 3 回生）

◆第 11 回神戸新人音楽賞コンクール

声楽部門 優秀賞

中川 郁文（2016 年 3 月 修士課程声楽専攻 修了）

◆第 18 回大阪国際音楽コンクールファイナル

ピアノ部門 Age-G 第 1 位

リサイタルコース 第 1 位

グランドファイナル＝ガラコンサート 第 1 位

音楽現代賞、セシリア国際音楽コンクール賞

フランスでの演奏会への出場招待

中野 万里子（1979 年 3 月 ピアノ専攻卒業）

◆第 16 回宝塚バガ学生ピアノコンクール

大学生部門第 1 位 及び 三宝音楽賞

別所 亮真（ピアノ専攻 2 回生）

◆第 4 回 さかい九頭竜音楽コンクール

金賞及び坂井市長賞（全部門最高位）

中原 加奈（2014 年 3 月 声楽専攻卒業）

◆第 9 回東京国際声楽コンクール新進声楽家部門

第 2 位（1 位なし）及び東京新聞賞

原田 葉奈（修士課程声楽専攻 1 回生）

◆姉妹都市交流促進特別表彰

～京都プラハ姉妹都市提携 20 周年～

大嶋 義実教授

◆第 19 回日本演奏家コンクール

弦楽器部門一般 A の部 3 位

尾崎 有実子（2016 年 3 月 弦楽専攻ヴァイオリン卒業）

弦楽器部門大学生の部 3 位、神戸市教育委員会賞

岩崎 朱里（弦楽専攻 1 回生）

◆第 86 回日本音楽コンクール

チェロ部門本選 入選、岩谷賞（聴衆賞）

櫃本 瑠音（2016 年 3 月弦楽専攻チェロ卒業）

◆2017 Memphis International Piano Collegiate Competition

First Prize

近野 剛（2015 年 3 月ピアノ専攻卒業）

◆第 71 回 全日本学生音楽コンクール 名古屋大会

チェロ部門 大学の部 3 位

白水 大地（弦楽専攻チェロ 4 回生）

◆第 8 回神戸芸術センター記念ピアノコンクール

金賞（第 1 位）

森本 美帆（2012 年 3 月器楽専攻（ピアノ修了）

審査員賞

山下 紗也華（ピアノ専攻 4 回生）

◆第 47 回滋賀県芸術文化祭音楽部門

奨励賞

小林 千晶（管・打楽専攻フルート 4 回生）

◆第 31 回摂津音楽祭 リトルカメラリアコンクール

銅賞（第 3 位）

東山 洗雅（博士課程器楽領域ピアノ 7 回生）

◆17th Chieri International Competition 2017

クラリネット カテゴリー A（20 歳まで）第 2 位

片岡 友紀（管・打楽専攻 クラリネット 3 回生）

◆第 11 回八潮市新人オーディション

最優秀賞

芝野 速大（ピアノ専攻 2 回生）

◆第 27 回クラシック音楽コンクール全国大会

アンサンブル部門 第 5 位（1・3 位なし） 弦楽四重奏

山森 温菜（弦楽専攻 2 回生 ヴァイオリン）

下宮 早葵（弦楽専攻 2 回生 ヴァイオリン）

木田 奏帆（弦楽専攻 2 回生 ヴァイオリン）

塚本 ひらき（弦楽専攻 2 回生 チェロ）

◆第 37 回藤堂音楽賞

井上 まゆみ（音楽学部非常勤嘱託講師 本学卒）

雨田 一孝（音楽学部非常勤講師 本学卒）

日比 浩一（1984 年 3 月 音楽学部弦楽専攻卒業）

◆第11回バーテン音楽コンクール

自由曲コース 弦楽器部門 大学・院生A 第1位

上門 文香(弦楽専攻 ヴァイオリン 3回生)

山田 千春(弦楽専攻 ヴァイオリン 1回生)

◆第8回クオリア音楽コンクール

ピアノ部門 大学生の部

第2位

原 清夏(ピアノ専攻 2回生)

奨励賞

下村 彩葉(ピアノ専攻 4回生)

◆第23回 KOBE 国際音楽コンクール

木管楽器部門 奨励賞

福田 彩乃(管・打楽専攻 サクソフォン 4回生)

◆第27回日本クラシック音楽コンクール

ヴァイオリン部門 大学の部 第5位(1位～3位無し)

岩崎 朱里(弦楽専攻 ヴァイオリン 1回生)

チェロ部門 大学の部 第3位

白水 大地(弦楽専攻 チェロ 4回生)

ピアノ部門 大学女子の部 第4位

仲吉 愛里(ピアノ専攻 2回生)

◆坂井時忠音楽賞

清水 徹太郎(音楽学部非常勤講師 本学卒)

◆音楽クリティッククラブ賞・奨励賞

アフター・アワーズ・セッション(室内楽グループ)

南出 信一(1977年3月弦楽専攻卒業 コントラバス)

右近 恭子(1980年3月ピアノ専攻卒業)

日比 浩一(1984年3月弦楽専攻卒業 ヴァイオリン)

日野 俊介(1984年3月弦楽専攻卒業 チェロ)

松原 央樹(1984年3月管・打楽専攻 クラリネット)

ギオルギ・バプアゼ(音楽学部非常勤講師 ヴァイオリン)

受賞された皆さま、おめでとうございます!!



真声会活動報告 ～2017年度の活動と今後の課題～

真声会専務理事 朴 実(12期、作曲)

昨年度、真声会は様々な事業に取り組んでまいりました。先ず、60周年記念事業の一環として60周年記念誌「想い出」を発刊しました。ここには1期生から64期生までの「想い出」が寄せられています。次に大きな事業としては、「真声会賞」の創設です。第1回の昨年はピアノ科の三上翼さんに、第2回目の本年は声楽科の山原さくらさんに授与いたしました。その他、会員にはナクソス・ミュージック・ライブラリー利用サービスが受けられるようになったこと、大学の音楽棟入り口に真声会掲示板を設置したこと、新しいデザインの会員証を発行し、会員証による特典を受けられる店舗が拡充されたことなどが挙げられます。

今後の課題として最も重要なことは、来年度の役員改選に伴う真声会役員のスムーズな世代交代です。これにより2023年度に予定されている大学移転に向けて、あらゆる世代によるオール真声会で取り組んでいきたいと思っています。

2017年度 第5回理事会

日時 2017年11月14日(火) 19時～21時

会場 ザ・パレスサイドホテル

出席者(敬称略)

理事: 大村益雄、樋上由紀、登博美、朴実、佐藤敏子、山本毅

中村公俊、小松淳史

監査役: 小川隆宏、杉中博

議案

1. 崇仁小学校使用に関する件について
2. アートフェア(「象の会」主催)との連携について
3. 真声会賞の運営について
4. その他
 - ・学内委員との会議について
 - ・「象の会」との合同会議について

第3回真声会役員と学内委員との懇談会

日時: 2018年1月9日(火) 18時～

会場: 大学会館

出席者: (敬称略)

真声会: 大村益雄、樋上由紀、登博美、中村公俊

学内委員: 中村典子、上村昇、山本毅、大嶋義実、村上哲
北村敏則、日紫喜恵美、上野洋子

議案:

1. 真声会からのお知らせ
2. 真声会賞の運営について
3. 真声会の今後、真声会への要望

2017年度 第6回理事会

日時 2018年1月26日(金) 19時～21時

会場 ザ・パレスサイドホテル

出席者(敬称略)

理事: 大村益雄、樋上由紀、登博美、山本千壽、中村公俊

監査役: 杉中博、小川隆宏

議案

1. 学内委員との懇談会の報告
2. 真声会賞の運営について
3. 卒業・入学式について
4. 2018年度総会について
5. その他
 - ・「象の会」との合同会議について

2017年度 第7回理事会

日時 2018年3月19日(月) 19時～21時

会場 ザ・京都市北文化会館

出席者(敬称略)

理事: 大村益雄、樋上由紀、登博美、朴実、山本千壽、中村公俊

監査役: 杉中博

議案

1. 真声会賞の選考
2. 「象の会」との話し合いの報告
3. 会費制度移行について
4. 第66号会報及び、同封物について
5. その他
 - ・会計監査について

事務局からのお知らせ

●後援申請書について

- ・申請書は、FAX かメール（shinsei@kcua.ac.jp）でお送りください。
- ・お急ぎの場合は、メールでの申請の方がより速く回答も可能です。（FAX の場合、お返事も FAX でするので、日中しかお返事出来ません。）
- ・後援申請書は、ホームページ（<http://shinseikai-kcua.net>）からダウンロード出来ます。
- ・メールでの申請の場合、一度プリントアウトしていただき、自筆で記入の上、スキャンしてお送りください。（PDF ファイルへの書き込みの場合、ファイルを開く際に、文字化けなどのエラーがよく起こっています。）
- ・申請年度の会費を収めていただいていることが後援の条件となります。

●ナクソス・ミュージック・ライブラリーの利用申し込みはお済ですか？

終身会費、会費を納入済みの方は、ナクソス・ミュージック・ライブラリーがお使いいただけます。申込書は、ホームページからダウンロードできます。

※申し込み済みで、まだ事務局より ID とパスワードの返事がない場合は、ご連絡ください。真声会からのメールが、迷惑メールに分類され届いていないことが、よく起こっています。

●住所変更の届出は、365 日、24 時間いつでも、ホームページから可能です。

事務局では、会員の住所、電話などのデータを記録し、常に更新しております。住所や、連絡方法などに変更があった場合には、お知らせ下さい。また、他の会員について照会したい時は、事務局までご連絡いただければ、対応させていただきます

●楽譜や、音楽書、CD などの寄贈が出来るようになりました。

図書館ではなく、音楽棟のラウンジに本棚が設置され、教務課の管理により、学生が自由に借りられるようなシステムになっています。謝礼や、発送手数料などはお支払い出来ません。寄贈点数が多く、郵送などが難しい場合などは、ご相談ください。

●2018 年度は、10 期までの方が、会費免除の対象です。

会則改正により、会費免除には、申請していただく必要があります。書式は自由ですので、事務局までご連絡ください。

●各自の会員番号（0 から始まる 5 桁）や、会費納入の状況（終身会費、会費、会費免除の区分と、年度毎の「済、未」の記載）、は、宛名のシールに記載しております。一度、ご確認ください。

●会員証がお手元に届いてない方や、再発行を希望される方は、82 円切手を貼った返信用封筒を、事務局までお送り下さい。最新の特典は、ホームページでご確認の上、商品購入の際に、店頭にてお確かめください。

京都駅東側、元崇仁小学校（音楽室、放送室）が無料で使用できます！

真声会員は、京都駅東側、元崇仁小学校の音楽室と放送室を、練習などに使っていただけます。使用できるのは、京芸移転までの約 2 年間で、祝日を除く、火・水・金・土の 9 時～17 時で、使用料は無料です。設備や、使用方法について、詳しくは真声会 HP に掲載しておりますので、ご確認ください。

なお、使用申請には、ネット環境が必要です。

真声会事務局

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町 13 番地の 6

Tel : 080-6185-4494 / Fax : 075-320-2520

e-mail : shinsei@kcua.ac.jp

HP : <http://www.shinseikai-kcua.net>



後援演奏会情報



♪アフター・アワーズ・セッション

20周年記念シリーズ vol.6 クリスマスのボプリ 2017

日時：2017年12月25日(月) 19:00

会場：日本キリスト教団 島之内教会

出演：右近恭子(25期Pf)、松原央樹(29期Cl)

曲目：サン＝サーンス／デンマークとロシアの歌によるカプリス Op.79

チャイコフスキー／バレエ音楽「くるみ割り人形」Op.71 より

ほか

♪ An Evening of Art Songs ～歌曲の夕べ～

日時：2018年2月22日(木) 19:00

会場：兵庫県立芸術文化センター 小ホール

出演：上木裕子(34期Vo)、信多仁子(32期Pf)

栗木充代(34期Vo)

曲目：ラヴェル／五つのギリシャ民謡

シューマン／リーダークライス ほか

♪ Duo Recital Vol.4

日時：2018年2月24日(土) 14:00

会場：岸和田市立浪切ホール 小ホール

出演：萩原吉樹(41期Pf)

曲目：リリ・ブーランジェ／夜想曲 行列

コルンゴルト／から騒ぎ ほか

♪ ヴァイオリン×ピアノ デュオリサイタル

春の花の香るまに

日時：2018年3月21日(水・祝) 18:00

会場：京都文化博物館 別館ホール

出演：松村佳奈(31期Pf)、西園真理(31期Vn)

曲目：スカルラッティ／ソナタ K.208

ショパン／バラード第2番 Op.38 ほか

♪「音に集う会 Vol.4」レクチュアコンサート

エジプト～西洋音楽で巡る古代エジプトの世界～

日時：2018年3月22日(木) 18:00

会場：カワイ名古屋 2F コンサートサロン「ブルー」

出演：野中亜紀(院26音楽学)、豊永歩(59期Vn)

青木美沙季(60期Vo)、林美咲(61期Pf)

曲目：ヴェルディ／オペラ「アイダ」より凱行進行曲

ラモー／エジプトの女 ほか

♪ Trio à la mode ♪ 室内楽の夕べ

日時：2018年3月23日(金) 19:00

会場：ドルチェ・アーティスト・サロン

出演：今西彩葉(院60Vn)

曲目：シュタム／コンチェルティーノ

ラボー／アンダンテとスケルツォ 作品8 ほか

♪ 土居知子ピアノリサイタル

～ Pallete der Variationen ～変奏の彩

日時：2018年3月24日(土) 14:00

会場：京都コンサートホール(小) アンサンブルホールムラタ

出演：土居知子(35期Pf)

曲目：モーツァルト／ピアノソナタ第11番 イ長調 K.331

シューマン／アベック変奏曲 op.1 ほか

♪ An Evening of Art Songs ～歌曲の夕べ～

日時：2018年3月27日(火) 19:00

会場：兵庫県立芸術文化センター 小ホール

出演：中西金也(49期Vo)

曲目：プーランク／「画家の仕事」 ほか

♪ Piano! Piano! Piano! Vol.2

日時：2018年3月28日(水) 19:00

会場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

出演：岩谷寿美子(30期Pf)、部幾世子(30期Pf)、

一ノ瀬夏美(28期Pf)、大富栄里子(28期Pf)

水野雅子(26期Pf)

曲目：シューベルト／即興曲 D.899 No.1,2

サン＝サーンス／序奏とロンド・カプリチオーソ op.28 ほか

♪ 田村幸造ピアノリサイタル

日時：2018年3月29日(木) 19:00

会場：豊中市立文化芸術センター 小ホール

出演：田村幸造(36期Pf)

曲目：ショパン／幻想曲 へ短調 op.49

バッハ／平均律クラヴィーア曲集 第1巻より第1番 ほか

♪ アクアクレールコンサート「ダンディ・ダンディ」

日時：2018年3月31日(土) 15:00

会場：横浜市港南区民センター

出演：星野みゆき(31期Fl)

曲目：テデスコ／ソナチネ、ピアソラ／タンゴの歴史 ほか

♪ 今井彩香ピアノリサイタル

日時：2018年4月7日(土) 14:00

会場：豊中市立文化芸術センター 小ホール

出演：今井彩香(54期Pf)

曲目：ラヴェル／ソナチネ

プロコフィエフ／ピアノソナタ第1番 ほか

♪ 柳樂毬乃(Vn) × 梅島洗立(Hr) × 中西聖嗣(Pf)

トリオコンサート

日時：2018年4月14日(土) 14:00

会場：日本基督教団 天満教会

出演：柳樂毬乃(62期Vn)

曲目：ベートーヴェン／ヴァイオリンソナタ第5番「春」

シューマン／アダージョとアレグロ ほか

♪音楽の森 vol.2 〜ドイツ・オーストリア編〜

日時：2018 年 4 月 28 日 (土) 14:00
 会場：大阪狭山市文化会館 SAYAKA ホール
 出演：藤原さおり (46 期 Vo)
 曲目：J.S. バッハ／主よ人の望みの喜びを
 シューベルト／野ばら ほか

♪“春のデュオ”第 5 回デュオリサイタル

日時：2018 年 4 月 30 日 (月) 14:00
 会場：ミューザ川崎シンフォニーホール「市民交流室」
 出演：鈴木梨津子 (24 期 Vn)
 曲目：ストラヴィンスキー／イタリア組曲
 モーツァルト／ヴァイオリンソナタ K.454 ほか

♪室内楽シリーズ Vol.1 ドビュッシー没後 100 年に寄せて

日時：2018 年 5 月 4 日 (金) 14:00
 会場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
 出演：東山洗雅 (53 期 Pf)、坂本恵子 (26 期 Pf)
 木村直子 (25 期 Vn)、木村政雄 (25 期 Vc)
 曲目：ドビュッシー／ピアノトリオ
 内藤正彦／世界としての夢 ほか

♪黒澤あみピアノリサイタル

日時：2018 年 5 月 8 日 (火) 19:00
 会場：ヤマハミュージッククリティリング 大阪なんば店
 出演：黒澤あみ (63 期 Pf)
 曲目：ショパン／Ballade No.4 Op.52
 ラフマニノフ／Piano Sonata No.2 Op.36 ほか

♪大谷圭介、バリトン・リサイタル

日時：2018 年 5 月 8 日 (火) 19:00
 会場：京都府民ホール アルティ
 出演：大谷圭介 (45 期 Vo)、今岡淑子 (教員)
 曲目：Billi / E canta il grillo
 Mascagni / オペラ『イリス』ハイライト ほか

♪ソワレ・リリック・フランセーズ 〜フランス 歌の夜〜
ソロとデュオの楽しみ

日時：2018 年 5 月 11 日 (金) 19:00
 会場：京都コンサートホール アンサンブルホール ムラタ
 出演：谷村由美子 (42 期 Vo)
 曲目：ドビュッシー／「忘れられし小唄」全曲
 ラヴェル／「シェエラザード」全曲 ほか

♪志賀俊亮 現代音楽ピアノリサイタル

日時：2018 年 5 月 12 日 (土) 19:00
 会場：大阪府立阿倍野区民センター 小ホール
 出演：志賀俊亮 (61 期 Pf)
 曲目：福島和夫／水煙、風の輪、
 石田秀実／ピアノのための 5 つの断片、ファエンツァ
 ほか

♪ラフマニノフ 古川知子コンサート

日時：2018 年 5 月 18 日 (金) 19:00
 会場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
 出演：古川知子 (院 33Pf)、山岸孝教 (院 33Vc)
 曲目：ラフマニノフ／チェロ・ソナタ、ヴォカリーズ ほか

♪An Evening of Art Songs 〜歌曲の夕べ〜

日時：2018 年 5 月 24 日 (木) 19:00
 会場：伊丹アイフォニックホール メインホール
 出演：上木裕子 (34 期 Vo)、信多仁子 (32 期 Pf)
 栗木充代 (34 期 Vo)、中西金也 (49 期 Vo)
 曲目：プーランク／「くじびき」
 ブラームス／「ハンガリー歌曲」 ほか

♪古瀬まきをソプラノ・リサイタル

La voix humaine 〜人間の声〜

日時：2018 年 5 月 24 日 (木) 19:00
 会場：SAYAKA ホール 小ホール
 出演：古瀬まきを (院 21 期 Vo)
 曲目：プーランク／偽りの婚約
 團伊玖磨／ジャン・コクトーに依る八つの詩 ほか

♪大岡真紀子ピアノリサイタル

日時：2018 年 5 月 30 日 (水) 19:00
 会場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
 出演：大岡真紀子 (29 期 Pf)
 曲目：ショパン／ノクターン op.62-1,2
 ブラームス／後期の作品集より op.116-2,3,4 ほか

♪名取裕子ピアノコンサート

日時：2018 年 6 月 2 日 (土) 14:00
 会場：調布市せんがわ劇場
 出演：名取裕子 (34 期 Pf)
 曲目：ショパン／Ballade No.4
 バルトーク／Tanz-Suite No.3 ほか

♪ピアノアンサンブル doux

日時：2018 年 6 月 2 日 (土) 15:00
 会場：松尾ホール
 出演：奥田章子 (32 期 Pf)、小屋聖子 (35 期 Pf)
 高橋知子 (32 期 Pf)、高橋律子 (34 期 Pf)
 元木いずみ (32 期 Pf)
 曲目：ジャック・デュプレ／アルマンド
 バッハ／半音階的幻想曲とフーガ ほか

♪Duo Recital

日時：2018 年 6 月 3 日 (日) 14:00
 会場：京都堀川音楽高等学校音楽ホール
 出演：豊永歩 (59 期 Vn)、森田有衣子 (59 期 Pf)
 後藤真理亜 (58 期 Pf)
 曲目：ベートーヴェン／ヴァイオリンソナタ第 8 番
 プーランク／ヴァイオリンとピアノのためのソナタ ト長調
 ほか

♪黒川拓朗作曲作品個展 ～舞台・物語を彩る音楽～

日時：2018年6月13日(水) 18:30

会場：京都青山音楽記念館バロックザール

出演：黒川拓朗(60期作曲)、内山建人(59期Vo)

岩永紘樹(62期打)、原田菜奈(62期Vo)

中谷明日香(61期Vo)、宮尾和真(62期Vo)

浦方郷成(61期Vo)、江川菜緒(61期Vn)

鷺見敏(62期Vc)、平川奈津美(61期Cl)

高島翔大(62期Fg)、島田優美(63期Pf)

曲目：黒川拓朗／Become(打楽器奏者と机のための音楽)

黒川拓朗／朗読のための劇的音楽描写「夢十夜」 ほか

♪アフター・アワーズ・セッション

音楽クリエティッククラブ奨励賞受賞記念演奏会

日時：2018年6月17日(日) 18:00

会場：日本基督教団 島之内教会

出演：右近恭子(25期Pf)、日比浩一(29期Vn)

日野俊介(29期Vc)、松原央樹(29期Cl)

ギオルギ・パプアゼ(教員Vn)

曲目：シューベルト／ノットウルノ D897

ヒンデミット／5つの管弦楽のための小室内音楽 Op.24-2 ほか

♪京都市立芸術大学移転整備ブレ事業

小瀨妙美ソプラノリサイタル

日時：2018年6月19日(火) 19:00

会場：京都コンサートホール アンサンブルホールムラタ

出演：小瀨妙美(教員Vo)、田島亘祥(教員Pf)

高橋純(52期Vo)、中原加奈(59期Vo)

曲目：プッチーニ／オペラ「蝶々夫人」ハイライト

シューマン／「女の愛と生涯」 ほか

♪藤本志帆ピアノリサイタル

日時：2018年6月22日(金) 19:00

会場：ザ・ルーテルホール

出演：藤本志帆(59期Pf)

曲目：シューマン／Trois romances Op.11

ラヴェル／Miroirs ほか

♪高瀬佳子ピアノリサイタル

日時：2018年7月14日(土) 14:00

会場：兵庫県立芸術文化センター 小ホール

出演：高瀬佳子(33期Pf)

曲目：ベートーヴェン／ソナタ第21番「ワルトシュタイン」

バッハ＝ブゾーニ／シャコンヌ ほか

♪ベートーヴェン ピアノとヴァイオリンのためのソナタ全曲演奏会 Vol.2

日時：2018年7月16日(月) 14:00

会場：京都青山音楽記念館 バロックザール

出演：宮川みまり(42期Vn)、山口博明(44期Pf)

曲目：ベートーヴェン／ピアノとヴァイオリンのためのソナタ

第2.5.6.3番 ほか

♪江戸聖一郎フルート・リサイタル

日時：2018年7月18日(水) 19:00

会場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

出演：江戸聖一郎(40期Fl)、鈴木華重子(41期Pf)

曲目：プーランク／フルート・ソナタ

ドビュッシー／牧神の午後への前奏曲 ほか

♪An Evening of Art Songs ～歌曲の夕べ～

日時：2018年7月19日(木) 19:00

会場：伊丹アイフォニックホール メインホール

出演：中西金也(49期Vo)

曲目：シューマン／「リーダークライス」作品24 ほか

♪羊をめぐる音楽会 Vol.2

日時：2018年7月20日(金) 19:00

会場：京都文化博物館別館ホール

出演：北川皎(12期Per)、通崎睦美(35期Per)

伊藤朱美子(43期Per)、小松りみ(23期Per)

中村由紀子(59期Per)

曲目：スカルラッティ／ソナタ K432 ト長調

野田雅巳／「メリーさんの羊」変奏曲 ほか

♪トリオ フォンターナ結成20周年記念コンサート

日時：2018年7月26日(木) 19:00

会場：ザ・フェニックスホール

出演：久保由佳子(26期Vn)、佐々由佳里(30期Pf)

曲目：ピアノトリオ作品

♪高木知寿子ワルシャワピアノトリオ

日時：2018年8月1日(水) 19:00

会場：京都府民ホール アルティ

出演：高木知寿子(27期Pf)

曲目：ブラームス／ハンガリー舞曲第1番

ラフマニノフ／ヴォカリーズ ほか

♪An Evening of Art Songs ～歌曲の夕べ～

日時：2018年8月2日(木) 19:00

会場：伊丹アイフォニックホール メインホール

出演：上木裕子(34期Vo)、信多仁子(32期Pf)

中西金也(49期Vo)

曲目：シュトラウス／「乙女の花」

ラヴェル／「博物誌」 ほか

♪京都市立京都堀川音楽高等学校

田渕洋子先生ご退任記念コンサート

日時：2018年8月5日(日) 14:00

会場：京都堀川音楽高等学校 音楽ホール

出演：梁洋子(50期Vn)、藤野ルミ子(48期Vn)、朴梨恵(54

期Vn)、志水葵(59期Vn)、佐藤響(55期Vc)、吉田円香(56

期Vc)、大藪英子(60期Vn)、櫃本瑠音(61期Vc)、森川麻

子(47期Vn)、石川みまり(42期Vn)、勝見亜衣(64期Vn)

曲目：モーツァルト／Eine kleine Nachtmusik KV.525

サラサーテ／Zigeunerweisen Op.20 ほか

♪京都市立芸術大学音楽学部同窓会真声会奈良支部 第 18 回
定期演奏会“なら de クラシック”～トークコンサート「クラ
シック好きな男の日記」～

日時：2018 年 8 月 31 日 (金) 17:00

会場：秋篠音楽堂

出演：柳楽正人 (38 期 Hr)、岩本美穂子 (36 期 Ob)、江口恭
子 (37 期 Pf)、大西泰徳 (49 期 Vc)、木山明子 (45 期 Hr)、
室野摩母衣 (46 期 Vn)、田中裕美子 (51 期 Fg)、菊池敏子 (17
期 Vo)、菊田義典 (42 期 Vo)、岩渕葵 (55 期 Vo)、谷川秀美
(39 期 Pf)、塩田藍 (53 期 Pf)、姫野真紀 (38 期 Pf)、袴田さ
やか (33 期 Vn)

曲目：ダンツィ／トリオ ヘ長調 op.24

リスト／ラ・カンパネラ ほか

♪栗木充代メゾ・ソプラノリサイタル

日時：2018 年 9 月 28 日 (金) 19:00

会場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

出演：栗木充代 (34 期 Vo)

曲目：ブラームス／Zigeunerlieder

シューマン／Liederkreis ほか

♪山本祐梨子 & 山本紗佑里 ピアノコンサート

日時：2018 年 10 月 8 日 (月) 14:30

会場：京都府民ホール アルティ

出演：山本祐梨子 (47 期 Pf)、山本紗佑里 (51 期 Pf)

曲目：スクリャービン／ソナタ第 4 番 作品 30

ラフマニノフ／交響的舞曲 作品 45 ほか

♪ An Evening of Art Songs ～歌曲の夕べ～

日時：2018 年 9 月 26 日 (水) 19:00

会場：兵庫県立芸術文化センター 小ホール

出演：上木裕子 (34 期 Vo)、信多仁子 (32 期 Pf)

中西金也 (49 期 Vo)

曲目：プーランク／「変身」

シューマン／「リーダークライス」作品 39 ほか

♪望月章未ピアノリサイタル

日時：2018 年 11 月 4 日 (日) 14:00

会場：ザ・フェニックスホール

出演：望月章未 (25 期 Pf)

曲目：モーツァルト／ソナタ KV.333

ドビュッシー／前奏曲集より ほか

真声会 2018 年度 総会のご案内

真声会 2018 年度総会及び、懇親会を開催いたします。お忙しいこととは存じますが、ぜひご出席いただきま
すようご案内申し上げます。(同封の「総会案内及び資料」をご参照ください。)

記

1 日 時 2018 年 7 月 1 日 (日) 総会 午後 2 時～午後 4 時
懇親会 午後 4 時～午後 6 時

2 場 所 ザ・パレスサイドホテル (上京区烏丸通下立売上ル)

3 総 会 「2018 年度真声会総会議案書」及び添付の資料をご参照ください。

4 懇親会 多くの同窓生が一同に会して楽しく懇親交流を深めたいと思います。
参加費は、食事付きで、当日 3,500 円をお支払いください。

○出欠の返信は、同封の返信用ハガキにて、6 月 15 日 (金) までにお願いします。

○ご欠席の場合は、委任状か議決権行使書の提出をお願い致します。

○ご不明な点がございましたら、事務局 (080-6185-4494) までお問い合わせください。

編集後記

少し前ですが、私の勤める音楽教室でも新学期が始まり、新
入生が入りました。初めて音楽に触れ合う子、楽器の上達を
目指す子、いろいろな子がいますが、私も初心を忘れずに、
子ども達と音楽を楽しみたいと思う今日この頃です。(A.K.)

発行所

真声会 京都市立芸術大学音楽学部内

〒610-1197 京都市西京区大枝杏掛町 13 番地の 6

TEL: 080-6185-4494 FAX: 075-320-2520

e-mail: shinsei@kcua.ac.jp

HP: <http://www.shinseikai-kcua.net>

Facebook: <https://www.facebook.com/KCUA.AlumniAssociation.Shinseikai>

郵便振替口座 01070-4-16071 真声会



京都市立芸術大学音楽学部同窓会
Kyoto City University of Arts Alumni Association